

平成30年10月19日
国土交通省三陸国道事務所
西松建設株式会社
日本ファブテック株式会社

【三陸沿岸道路「尾肝要普代道路」^{お かんよう ふ だい}】

岩手県立岩泉高等学校1年生59名が

復興道路の工事現場を見学します！

三陸沿岸道路「尾肝要普代道路」は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、2020年度の開通を目指して、事業を進めているところです。

このたび、岩手県立岩泉高等学校1年生が復興教育の一環として、尾肝要普代道路で施工中の萩牛トンネル(仮)及び芦渡こ道橋(仮)の工事現場を見学することになりましたので、お知らせします。

1. 日 時 : 平成30年10月23日(火) 10時00分から(約1時間30分を予定)
2. 場 所 : 下閉伊郡普代村第29地割字芦渡 地内 別紙1-1~2 参照
3. 内 容 : ①萩牛トンネル(仮)の工事説明 別紙2-1 参照
②芦渡こ道橋(仮)の工事説明 別紙2-2 参照
③三陸沿岸道路の概要説明 別紙3-1~4 参照
4. そ の 他 : 荒天の場合は中止します。

【発表記者会:岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、久慈報道機関各社、東北専門記者会】


問い合わせ先

【事業に関する問い合わせ】

- 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話0193-62-1711(代表)
副 所 長 舩木 仁 (ふなき ひとし) (内線204)
建設監督官 小岩 孝行 (こいわ たかゆき) (内線503)

【工事内容に関する問い合わせ】

- 国道45号萩牛北地区道路工事(萩牛トンネル)
西松建設株式会社 現場事務所 電話0194-32-3720
現場代理人 小倉 仁志 (おぐら ひとし)
- 芦渡橋上部工工事(芦渡こ道橋)
日本ファブテック株式会社 現場事務所 電話0194-35-2870
現場代理人 酒井 匡 (さかい まさし)

※三陸国道事務所HPならびに復興道路、三陸沿岸道路については  で検索できます。

尾肝要普代道路(尾肝要~普代)、 普代道路(普代バイパス)

田野畑北IC(仮) ▶ 普代村第16地割

路線概要 尾肝要普代道路(尾肝要~普代)

三陸沿岸道路「尾肝要普代道路(尾肝要~普代)」は、下閉伊郡田野畑村集合(田野畑北IC(仮))から下閉伊郡普代村第11地割を結ぶ延長約8kmの自動車専用道路です。
この区間は、平成23年度に事業化となりました。

路線概要 普代道路(普代バイパス)

三陸沿岸道路「普代道路(普代バイパス)」は、下閉伊郡普代村第11地割から下閉伊郡普代村第16地割を結ぶ延長4.2kmの自動車専用道路です。
この区間は、平成25年10月13日に開通しています。

事業経緯

整備区間指定	事業化	開通
尾肝要普代道路(尾肝要~普代) /平成23年11月21日 普代道路(普代バイパス) /平成7年4月28日	尾肝要普代道路(尾肝要~普代) /平成23年度 普代道路(普代バイパス) /昭和63年度	尾肝要普代道路(尾肝要~普代) /平成32年度予定 普代道路(普代バイパス) /平成25年10月13日

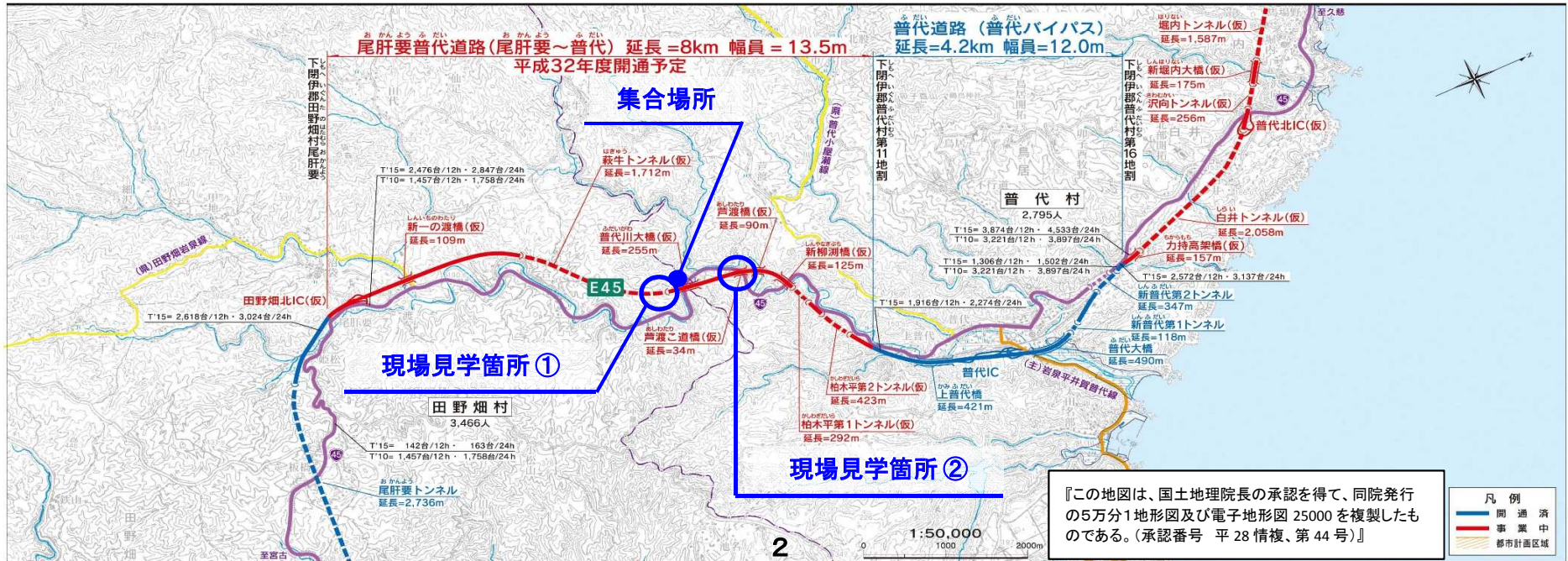


計画諸元

	尾肝要普代道路 (尾肝要~普代)	普代道路 (普代バイパス)
起 点	下閉伊郡田野畑村尾肝要	下閉伊郡普代村第11地割
終 点	下閉伊郡普代村第11地割	下閉伊郡普代村第16地割
延 長	8km	4.2km
幅 員	2車線 13.5m (事業中)	2車線 12.0m (開通済)
構造規格	第1種第3級	第1種第3級
設計速度	80km/h	80km/h

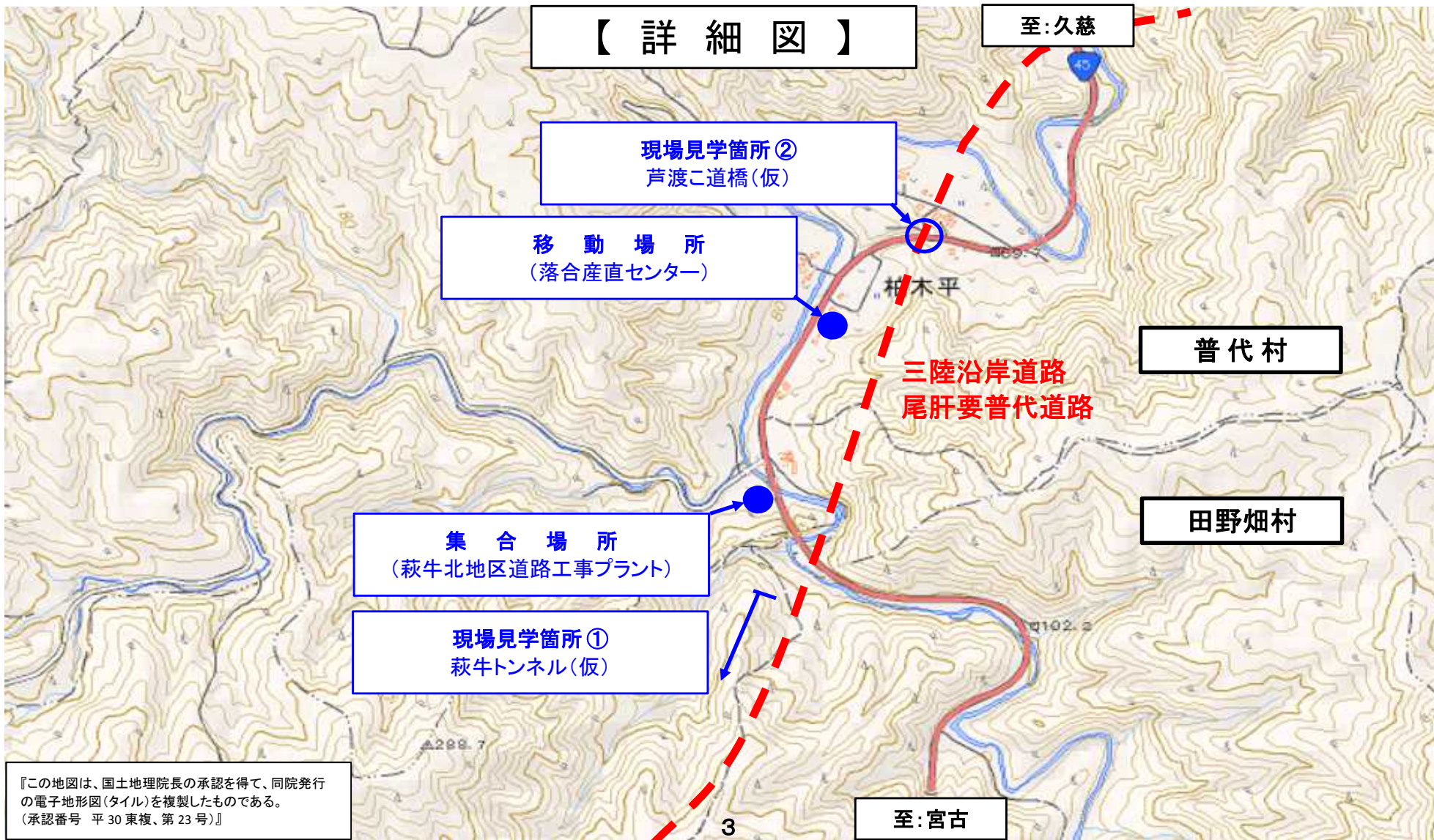
【現場見学会 行程(案)】

- 10:00 萩牛北地区道路工事プラント集合
(下閉伊郡普代村第29地割字芦渡 地内)
- 10:00 - 10:05 移動
- 10:05 - 10:15 三陸沿岸道路事業概要説明
- 10:15 - 10:45 現場見学箇所①
(萩牛トンネル(仮)工事説明)
- 10:45 - 10:55 移動
- 10:55 - 11:25 現場見学箇所②
(芦渡二道橋(仮)工事説明)
- 11:25 - 11:30 移動
- 11:30 見学会終了



■10月23日 現場見学会(岩泉高校)

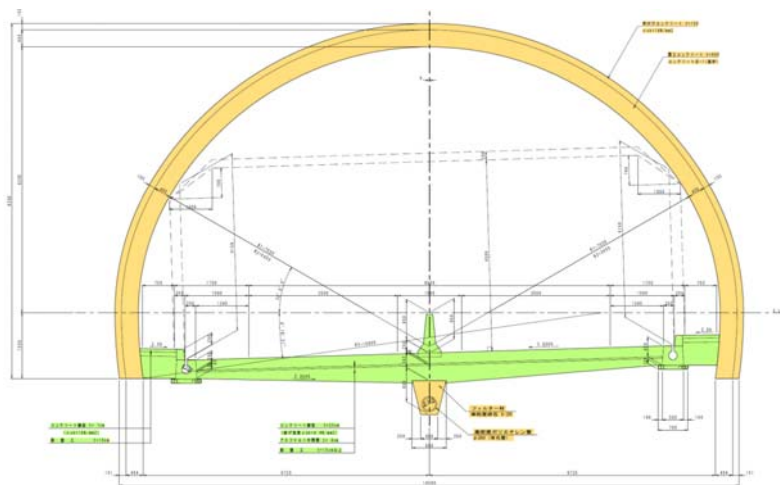
集合場所：萩牛北地区道路工事プラント(下閉伊郡普代村第29地割字芦渡 地内)



『この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平 30 東複、第 23 号)』

- 萩牛トンネル(仮)は延長L=1,712mで尾肝要普代道路で最も長いトンネルです。
- 工事は両側から掘り進めており、10月12日現在で約830m掘削が進んでいます。

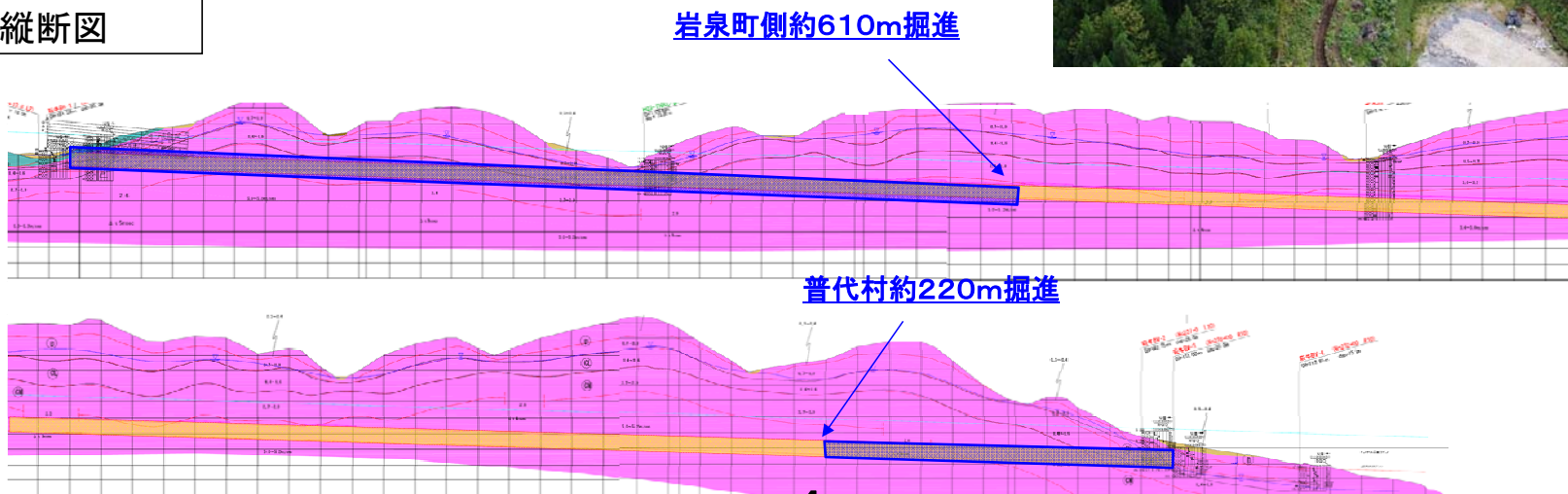
トンネル標準断面



トンネル坑口写真 (普代村側)



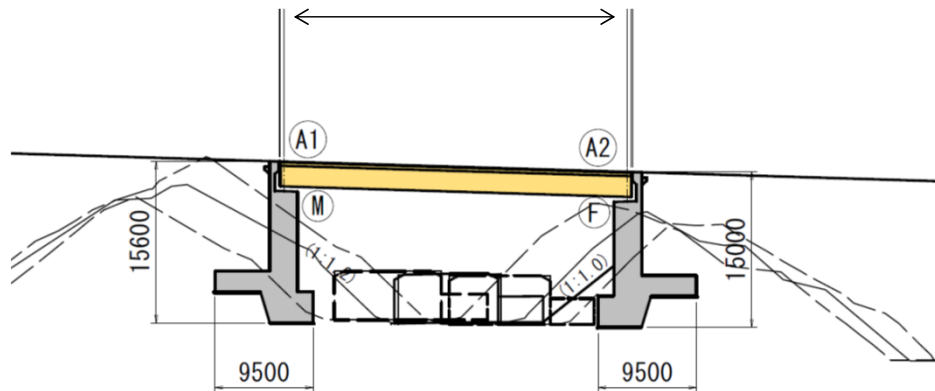
トンネル縦断図



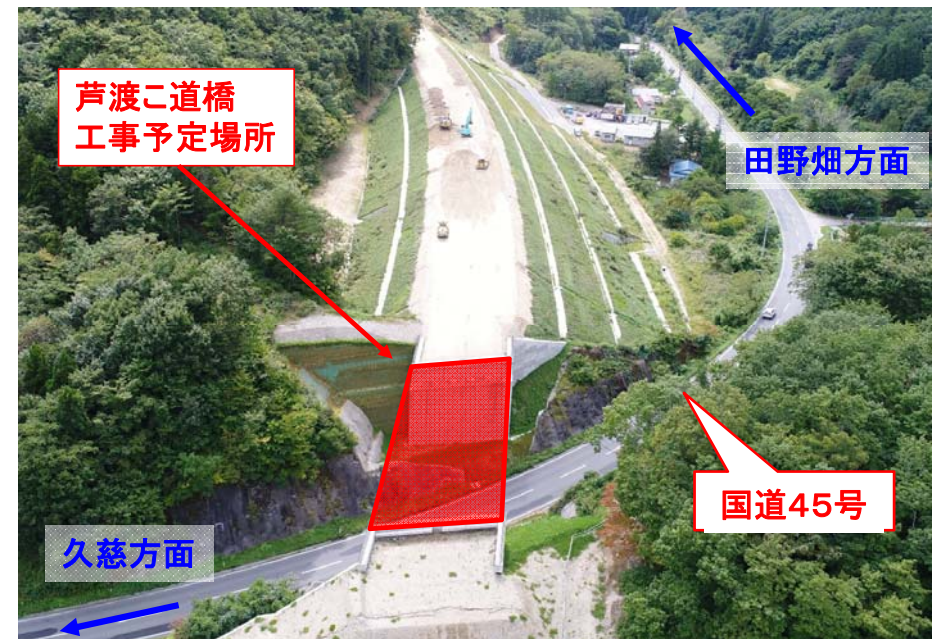
- 芦渡こ道橋(仮)は延長 $L=34\text{m}$ の鋼橋です。
- 「こ道橋」とは「道をまたぐ橋」の意味で、芦渡こ道橋は国道45号をまたぐ橋梁です。

芦渡こ道橋(仮)側面図

橋梁形式: 鋼単純非合成鈹桁橋
橋長 $L=34\text{m}$



芦渡こ道橋(仮)工事予定場所写真



津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

別紙3-1

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 尾肝要普代道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼岩泉町～久慈市間経路



▼津波により寸断された国道

写真① 野田村野田地区

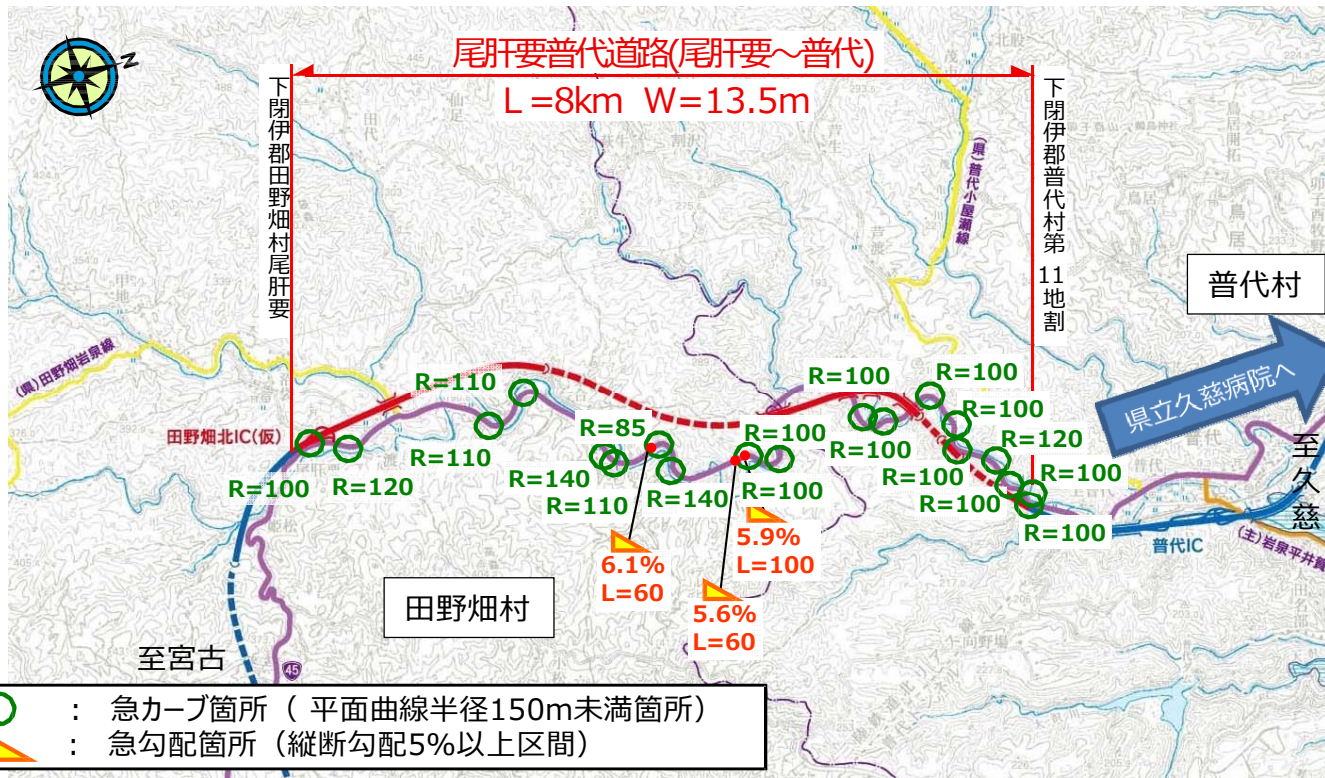


写真② 岩泉町小本地区



- 田野畑村からの救急搬送は主に第三次医療施設である県立久慈病院となっているが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 尾肝要普代道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況



尾肝要～普代区間の国道45号

急カーブ箇所
(R < 150m)
19箇所



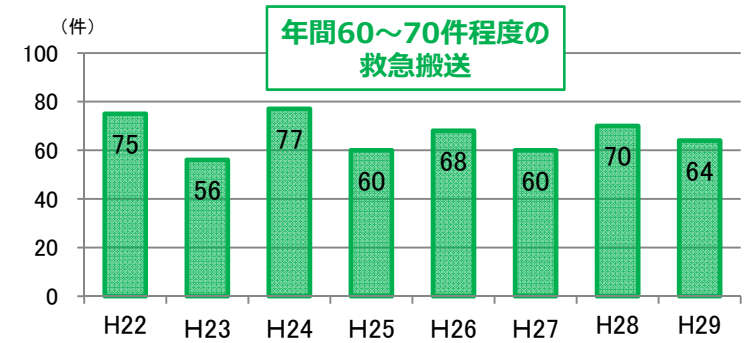
急勾配箇所
(i > 5%)
3箇所
220m



急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

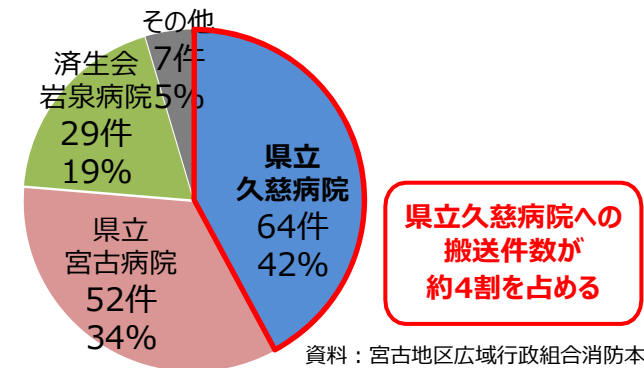
尾肝要普代道路

▼救急搬送件数(田野畑村～県立久慈病院)



資料：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績
※田野畑分署

▼田野畑分署の搬送実績 (平成29年)



資料：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績
※田野畑分署

田野畑村から県立久慈病院への搬送時間
現在 約55分 ⇒ 将来 約35分

※H27道路交通センサス(昼間非混雑時上下平均旅行速度)、設計速度より所要時間算出(三陸沿岸道路全線開通時)

観光資源へのアクセス向上による周遊型観光の活性化を支援

別紙3-3

- 三陸ジオパークや震災遺構などの観光資源が存在し、宮古地方生活圏の入込客数は震災前の約9割まで回復
- 岩手県初の新たなフェリー定期航路が平成30年6月22日に開設、さらなる観光入込客の増加を支援
- 三陸沿岸道路等の整備により、観光資源へのアクセス向上による周遊型観光の活性化を支援

▼三陸沿岸地域に広がる震災遺構・ジオサイト等

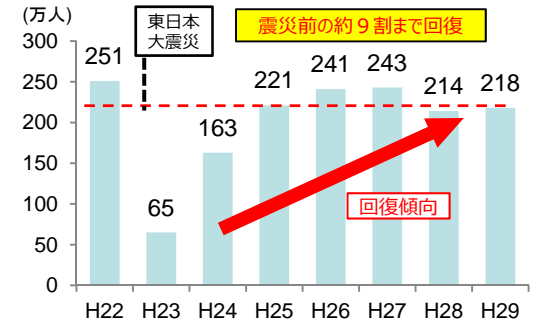


▼平成30年6月22日に宮古室蘭フェリーが就航



撮影：三陸国道事務所

▼観光入込客数の推移（宮古地方生活圏）



【三陸ジオパーク】



▲浄土ヶ浜(宮古市)

出典：三陸ジオパークオフィシャルwebサイト
いわて三陸観光復興プラットホームHP

【震災遺構】



▲奇跡の一本松(陸前高田市)

【宮古市と室蘭市との交流連携】



▲航路周知活動(宮古市)

セミナーやフェリーフェスティバルでのパネル展示を通じ、フェリー航路の新たな可能性や展望、両地域の魅力を情報発信



▲市民交流活動(室蘭市)

航路開設にあたり、両地域の在り方を検討するため、宮古市職員を室蘭市に招いて、ワークショップを開催



▲観光物産PR(宮古市)

宮古市産業まつり 室蘭市の物産販売



▲観光物産PR(室蘭市)

むろらん港まつり 宮古市の物産販売

※ダイヤ改編のため平成30年10月6日より、
日曜日の室蘭発及び月曜日の宮古発は毎週連休

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



石割桜
(盛岡市入込客数 : 387万人/年)



小岩井農場
(まきば園)
(雫石町入込客数 : 196万人/年)



八幡平
(八幡平市入込客数 : 179万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数216万人/年)



中尊寺



毛越寺



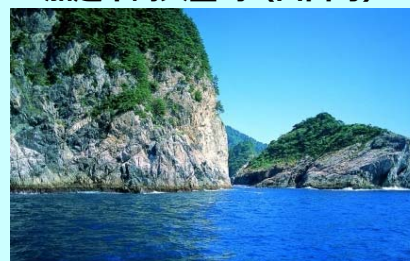
三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



(宮古市入込客数 : 113万人/年)

船越半島大釜崎(山田町)



(山田町入込客数 : 24万人/年)

碁石海岸(大船渡市)



(大船渡市入込客数 : 69万人/年)

三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



(久慈市入込客数 : 62万人/年)

北山崎(田野畑村)



(田野畑村入込客数 : 41万人/年)

龍泉洞(岩泉町)



(岩泉町入込客数 : 41万人/年)

※資料: H29岩手県観光統計